

根研究集會に参加して

坂部雄基

三重大学大学院生物資源学研究科

今回、初めて根研究集會に参加させていただきました。午前中から始まり、夕方までという1日かけての集會でしたが、終始、発表に対して真剣に耳を傾けつつも和やかな雰囲気が集會が進められていました。こういった場への参加は初めてということもあり、始めは非常に緊張をしていましたが、集會の雰囲気のおかげで非常に有意義な時間を過ごせたと思います。

口頭発表においては、発表者は丁寧に、各個人の持ち味を出して発表を行っていたのと同時に、発表の内容に対してすべての人が真剣に耳を傾けており、発表に対する意見や質問が様々な方向から出されていました。研究に対する疑問から改良すべき点、また今後の研究についての意見などがあり、すべての人が「根」を研究対象として集まっているのだとあらためて実感したのと同時に、このような意見の交換が、研究内容をより深く、幅広いものに行っているのだろうと思いました。また、ポスター発表においても、皆さんきれいでわかりやすいものを作っていて、実際の実験材料を展示している発表者の方もいて、非常に興味を持ちました。ポスターの展示会場では、発表の1時間の間、常に発表者のもとには意見を求める人がいて、かなり活発な情報交換が行われていました。また、今回は口頭発表という形で研究の発表を行わせていただきました。拙い発表にも関わらず、内容に対して疑問や意見をいただき、非常に参考になりました。また、今後の研究の方向性についても意見をいただき、さらなる励みとなりました。研究発表全体を通して、「根」ということをあらためて感じました。また、自らの勉強不足のため少し難しいと感じた内容もありましたが、普段、研究室において研究を行っているだけでは得られない、視野を広めるということができたと思います。

また、研究集會の後、懇親会が催され、その場に参加させていただきました。直前の研究集會とは違い、とても賑やかで打ち解けた雰囲気でした。この会に初めての参加ということと、

このような場にはあまり慣れていないことから、自分から積極的に話しかけることはできませんでしたが、他の参加者から色々と話しかけていただいたため楽しむことができました。お互い話す内容も、研究についてだけでなくその他のいろいろなことについても会話ができました。懇親会において、いろいろな人とさまざまな話ができることは自らの交友関係を広げ、また、お互いの研究の幅を広げるという観点からも重要であると思います。

集會の最初に行われた総会では、研究会の文献の電子データベース化についての報告がありました。バックナンバーの保管の簡易化や、より多くの人に知ってもらえるといった利点が挙げられていました。情報のデータベース化は、近年の世界的な研究報告に関する情勢から言えば非常に重要であると思います。また、今年の11月に名古屋で行われる国際根研究学会シンポジウムについての紹介がありました。世界中から幅広い分野の研究者が集まるということで、このシンポジウムへの参加は大変有意義になると感じました。事務局からはより多くのメンバーの参加を期待するアナウンスがありました。

今回、根研究集會に参加し、多くの方々から意見をいただいたことは、今後の研究活動への刺激となったと同時に、根に対する更なる興味を持ちました。最後に、根に関する様々な研究を発展していくためにも、この根研究集會がこれまで以上に活発に行われることを期待します。